

2016年3月30日

アジア初となるバーゼルⅢ対応の円貨債券への投資について

第一生命保険株式会社(社長:渡邊光一郎 以下「当社」)は、今般シンガポールのDBSグループ・ホールディングス(以下、DBSホールディングス)が発行するアジア初(除く日本)となるバーゼルⅢ(国際規制)対応の円貨債券への投資を行いました。DBSホールディングスは、シンガポール最大手のDBS銀行を有する金融持株会社です。

各国の有力な金融機関は、国際規制に従った劣後債券等の資本性証券の発行を要求されています。そのような規制動向を踏まえ、DBSホールディングスが3月にバーゼルⅢ規制対応の劣後債券を発行し、当社が全額投資しました。

当社は、低金利環境下における収益拡大の観点から、インフラや新興国株といった成長分野への投融資に加え、リスク分散の観点で投資対象国や通貨の分散を進めてきました。その一環として、新規分野であるバーゼルⅢによる追加資本ニーズに対応する投資を行うべく態勢整備を進めてきました。

当社では、有力な各国金融機関と直接対話することにより相対的に収益性の高い投資機会が得られると考えており、本債券の投資に至っています。当社は今後も、欧米金融機関と同様、成長市場であるアジアの有力金融機関等が発行する円貨債券への投資機会を拡大していきます。

当社は、今後も多様な投資案件への取組みなどによる運用手法の高度化・多角化、ならびに機関投資家としての本来機能の発揮により、資産運用収益を確保し、企業価値向上を目指していきます。

<本債券の概要>

発行体	DBSグループ・ホールディングス
所在国	シンガポール
業種	金融サービス業
債券格付け	Moody's A2
通貨	日本円
期間	10年
投資金額	100億円

* DBSグループ・ホールディングスはシンガポール有数の金融機関で、発行体格付けは、Moody's Aa2、Fitch AA-。資産規模(2015年12月期)は、4,578億シンガポールドル(38.0兆円)。シンガポールドル=83.2円

* 格付けの出所は、Moody's Investors Services 及び Fitch Ratings。債券格付けは資本性証券にかかる格付け。